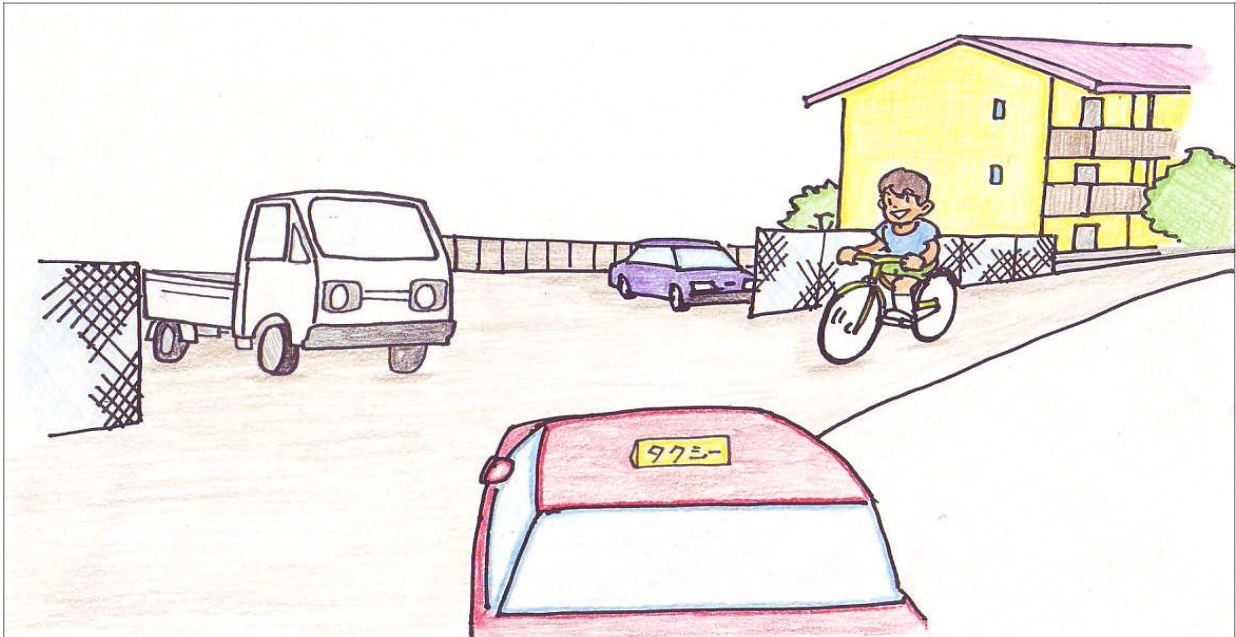


(2) 交通安全

交通安全KYT資料①「駐車場出入り口での自転車通行」ワークシート実践例



① このイラストはどのような場面ですか。

- ・自転車に乗った男の子が駐車場入り口に差し掛かっている。
- ・タクシーが駐車場に入ろうとしている。
- ・軽トラックが駐車場から出ようとしている。

② この後、どのような危険が考えられますか。

- ・男の子の自転車とタクシーがぶつかる。
- ・男の子の自転車と軽トラックがぶつかる。
- ・自転車に気を取られた車の運転手が、前の車に気付くのが遅れ、車同士がぶつかる。

③ 危険を避けるためにはどのようにすればよいですか。

- ・自転車は一旦停止し、車が通り過ぎるのを待つ。
- ・自転車から降りて、安全を確認しながら自転車を押して進む。
- ・スピードを落とし、安全に気を付けながら徐行する。

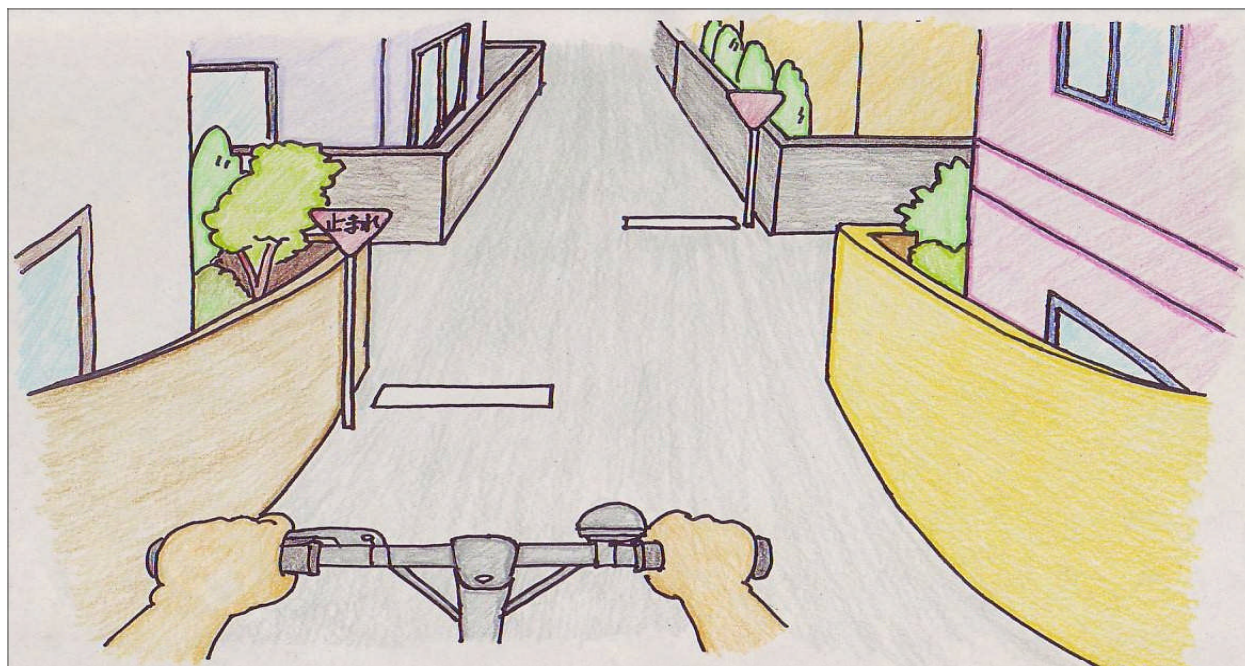
④ ③についてグループで話し合い、危険を避けるために最もよいと思う方法を1つ決め、短い言葉でまとめましょう。

- ・駐車場前等を自転車で通行するときは、自転車から降りて安全を確かめて通行します。
- ・車が出入りするところを自転車で通行するときは、一旦停止して安全を確かめます。
- ・車が出入りするところを自転車で通行するときは、安全確認をしながら徐行します。

【指導のポイント等】

- 駐車場や会社等、車が出入りする場所では、特に駐車場から出る車への注意が必要である。
- 車が大型トラック等の場合は運転手には低い部分が見えにくいので、そのそばを自転車で通行する際は十分注意する。
- 自転車運転中に危険な場所を通るときは、一旦降りて安全確認をしながら自転車を押して通る。

交通安全KYT資料②「坂道での自転車運転」ワークシート実践例



① このイラストはどのような場面ですか。

- ・自転車を運転して坂道を下っている。
- ・坂道を下ったところに「止まれ」の標識があり、そこは交差点になっている。
- ・坂道を下ったところの交差点は、両方に塀があり見通しが悪い。

② この後、自転車に乗っている人にはどのような危険が考えられますか。

- ・スピードが出ていて、「止まれ」の標識のところで止まることができず、左右から来た車や人にぶつかる。
- ・左右から車が来たので、思い切りブレーキをかけたらず自転車がスリップして転ぶ。

③ 危険を避けるためにはどのようにすればよいですか。

- ・「止まれ」の標識のところで確実に止まることができるように、ブレーキをかけながらゆっくり坂道を下る。
- ・自転車のブレーキがいつもきちんと作動するよう点検をする。

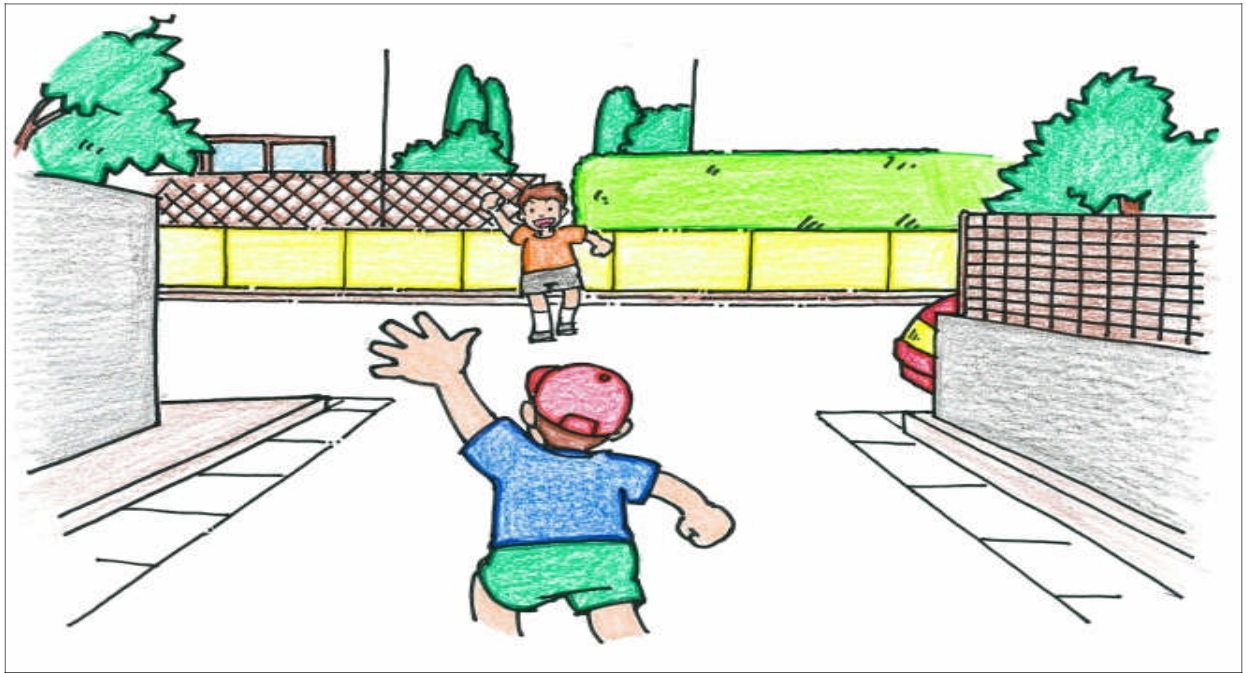
④ ③についてグループで話し合い、危険を避けるために最もよいと思う方法を1つ決め、短い言葉でまとめましょう。

- ・坂道を下るときにはスピードを出しません。
- ・自転車に乗る前には、ブレーキの点検をきちんとします。
- ・止まれの標識のあるところでは確実に止まります。

【指導のポイント等】

- 自転車を運転するときも、標識等は必ず守る。
- 坂道を下るときはスピードが出やすいので、標識があるなしに関わらず、どのような事態にも対応できる速度で走行するように常に心がけて運転する。
- 日頃から、ブレーキ等自転車の安全点検をしておく。

交通安全KYT資料③「交差点での飛び出し」ワークシート実践例



① このイラストはどのような場面ですか。

- ・道路の反対側で友達が呼んでいるので急いで行こうとしている。
- ・友達と待ち合わせをしていて、その待ち合わせ場所に向けて道路を横断しようとしている。
- ・道路の反対側の友達のところへ行こうとしているが、右から車が来ている。

② この後、男の子にはどのような危険が考えられますか。

- ・男の子が広い道に飛び出したところで、車とぶつかる。
- ・車が左折して男の子の方へ向かってくる。狭い道なので危ない。
- ・車は止まっているが、男の子が道路を渡ろうとしたら左右から別の車が来てぶつかる。

③ 危険を避けるためにはどのようにすればよいですか。

- ・急いでも交差点では必ず止まって安全確認をして道路を横断する。
- ・道路左側に歩道があるので、きちんと歩道を通る。
- ・道路の反対側にいる友達が左右の状況を大きな声でしっかり伝えるように教えてあげる。

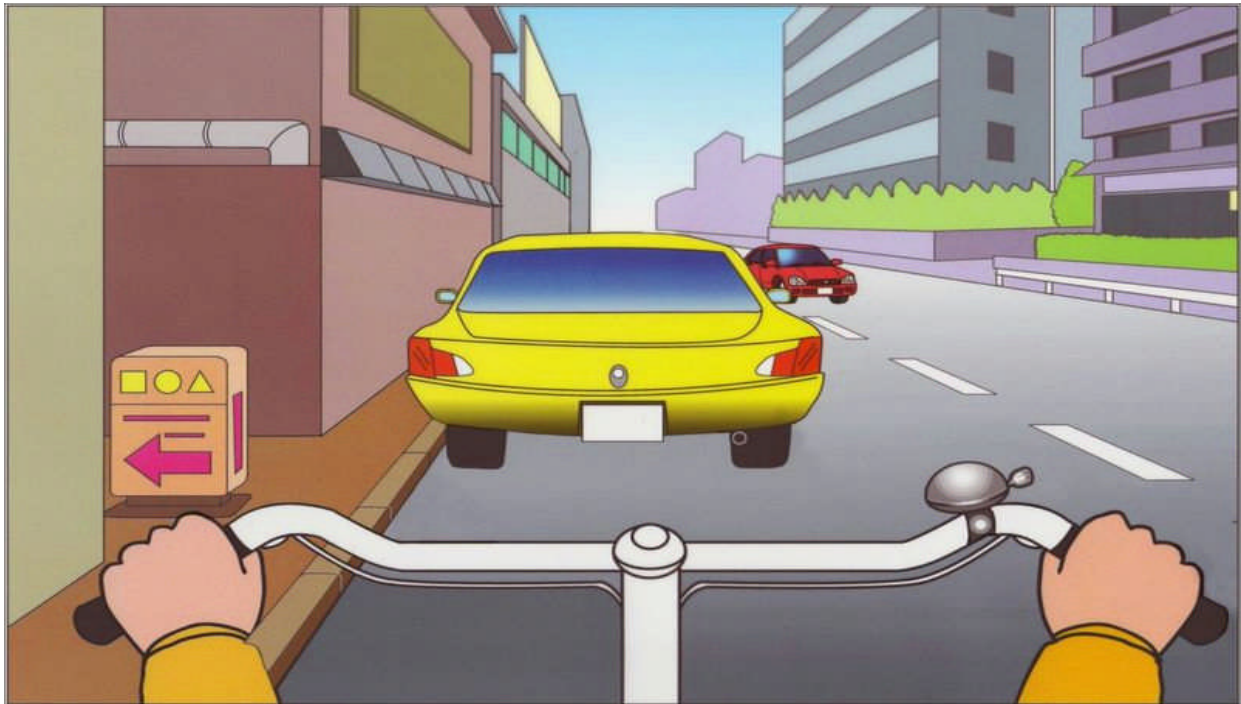
④ ③についてグループで話し合い、危険を避けるために最もよいと思う方法を1つ決め、短い言葉でまとめましょう。

- ・交差点では必ず止まって安全確認をして道路を横断します。
- ・飛び出しは絶対にしません。
- ・歩道があるところでは、必ず歩道を通ります。

【指導のポイント等】

- 事故の多くは、交差点で起きたり、飛び出しが原因となったりしている。慣れた道であっても道路を横断するときは必ず止まって安全確認をする。
- 交差点付近で車が停止していると見通しが悪くなるので十分な注意が必要である。
- 道路の反対側にいる人が声を掛けると、それにつられて急いで道路を横断しようとすることがあるので、大きな声で左右の状況等を知らせる注意をしたり、止まるように言ったりする。

交通安全KYT資料④「停車車輛の自転車での追い越し」ワークシート実践例



① このイラストはどのような場面ですか。

- ・自転車で走行中、停止している車を避けようとしている。
- ・道路左の歩道は狭いので、前の車を追い越すためには車の右側を通らなければいけない。
- ・反対車線に対向車が見えるので、急いで前の車の横を通り抜けようとしている。

② この後、自転車に乗っている人にはどのような危険が考えられますか。

- ・後ろから来た車にぶつかる。
- ・前の車の横に出たら、さらにその前に車が止まっていたため、対向車と接触する。
- ・前の車の横に出たとき、突然、運転者がドアを開けてぶつかる。

③ 危険を避けるためにはどのようにすればよいですか。

- ・一旦停止して、後方・前方の安全確認を十分に行い、その上で通行する。
- ・前の車の急発進や急バック、ドアを開ける等に十分気を付けながら通行する。
- ・車の前の状況がよく分からないので、よく確認をして通行する。

④ ③についてグループで話し合い、危険を避けるために最もよいと思う方法を1つ決め、短い言葉でまとめましょう。

- ・前と後ろから来る車に気を付けます。
- ・止まっている車を追い越すときには、安全に気を付けながらゆっくり進みます。
- ・前の状況がよく分からないときには、前後からの車が来ないことを確認して進みます。

【指導のポイント等】

- 停車している車の横を通るときは、停車車輛、前の状況、前後からの車等、危険なことが多いので十分な注意が必要である。
- 車道に障害物等があり、歩道を通ることができる場合は無理をせずに歩道を押して歩く。

交通安全KYT資料⑤「自転車での集団走行」ワークシート実践例



① このイラストはどのような場面ですか。

- ・友達と自転車で通行していて、友達2人は既に広い道に出て道路を渡ろうとしている。
- ・2人の友達を追いかけて急いで交差点の中に入ろうとしている。
- ・横断しようとしている道は、通行している道より大きい優先道路である。

② この後、どのような危険が考えられますか。

- ・前の2人の後を急いで渡ろうとして、左右から来る車にぶつかる。
- ・交差点左側から歩行者が出てきて、道路を渡ろうとして自転車とぶつかる。
- ・交差点右側から左折してきた車がふくらんで、道路中央寄りを走っている自転車にぶつかる。

③ 危険を避けるためにはどのようにすればよいですか。

- ・たとえ前の友達が行った直後でも、見通しが悪い交差点に入るときには止まる。
- ・「止まれ」の標識や停止線のあるところでは、必ず止まって安全確認をして横断する。
- ・自転車は、道路の左端を通行する。

④ ③についてグループで話し合い、危険を避けるために最もよいと思う方法を1つ決め、短い言葉でまとめましょう。

- ・先に行った友達が道路を横断しても、自分で安全確認をして横断します。
- ・見通しの悪い交差点や、停止線のあるところでは必ず止まります。
- ・「車は来ないだろう」ではなく「車が来るかもしれない」と思って自転車の運転をします。

【指導のポイント等】

- 自転車の飛び出しによる事故が多い。道路を横断するときには必ず一旦停止する。
- 自転車で見通しの悪い交差点に入るときは、「車は来ないだろう」ではなく、「車が来るかもしれない」と思って運転をする。
- 自転車は道路の左端を一列で通行する。

交通安全KYT資料⑥「自転車の歩道走行」ワークシート実践例



① このイラストはどのような場面ですか。

- ・自転車通行可の歩道を自転車に乗って通行している。
- ・前方には、子どもを連れた妊婦と、おばあさんがいる。
- ・横断歩道手前の停止線で車が止まっている。

② この後、どのような危険が考えられますか。

- ・妊婦の車道側を通ろうとするが、子どもが急に右側に動いてぶつかる。
- ・おばあさんが持っている袋が自転車にひっかかったり、おばあさんに接触したりする。
- ・横断歩道を急いで渡ってきた人とぶつかる。

③ 危険を避けるためにはどのようにすればよいですか。

- ・歩道を自転車で通行する場合は、歩行者の動きに注意する。
- ・自転車で歩道を通行するとき、歩行者がいたら徐行するか、必要であれば止まる。
- ・自転車で歩道を通行するとき、歩道を横切る車や横断歩道からの歩行者等に気を付ける。

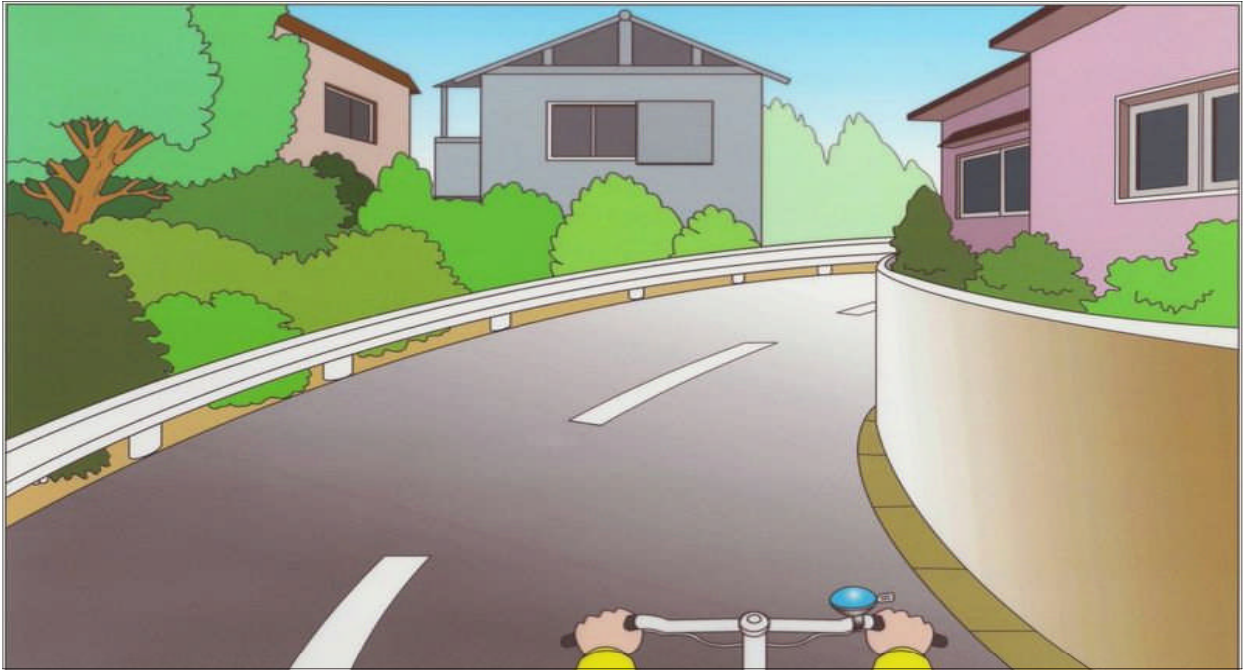
④ ③についてグループで話し合い、危険を避けるために最もよいと思う方法を1つ決め、短い言葉でまとめましょう。

- ・自転車で歩道を通るときは歩行者の動きに気を付けます。
- ・自転車で歩道を通るとき、歩行者を優先し徐行します。
- ・自転車で歩道を通るとき、危険を感じたら止まります。

【指導のポイント等】

- 自転車通行可の歩道を自転車で通行する場合は、歩道の車道側を通行する。
- 自転車通行可であっても、歩道は歩行者が優先することを意識して、歩行者の近くでベルを鳴らして驚かせたり、無理に追い越そうとしたりせずに、思いやりをもって安全に運転する。

交通安全KYT資料⑦「自転車の右側走行」ワークシート実践例



① このイラストはどのような場面ですか。

- ・右にカーブしている道路を自転車に乗って通行している。
- ・自転車は道路の右側を通行している。
- ・道路の右側には、家や塀があり見通しが悪い。

② この後、どのような危険が考えられますか。

- ・前方から左側をやってくる車や自転車にぶつかる。
- ・前方の右側を歩いている歩行者の発見が遅れてぶつかる。
- ・前方と後方から同時に車が来た場合よけるところがない。

③ 危険を避けるためにはどのようにすればよいですか。

- ・交通ルールを守り、自転車は左端を通行する。
- ・カーブや曲がり角等で先が見えにくい道路を通行する場合は、人や車が来るかもしれないという意識をもち、徐行する。

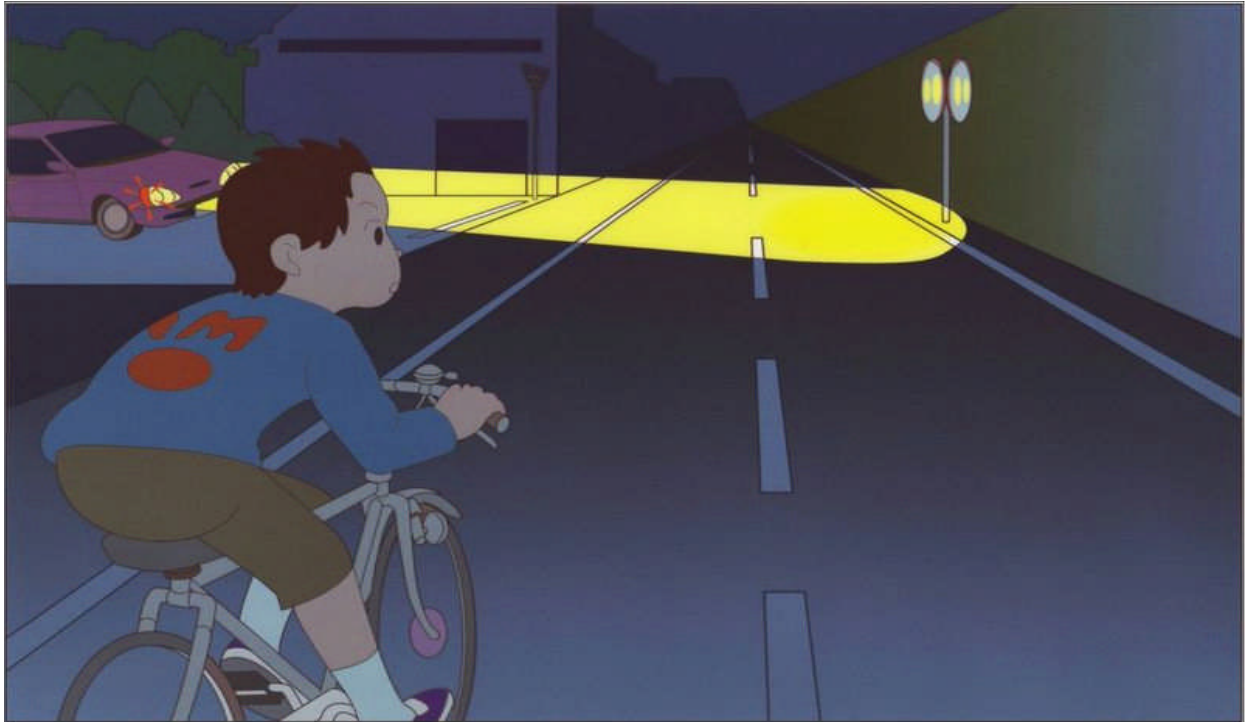
④ ③についてグループで話し合い、危険を避けるために最もよいと思う方法を1つ決め、短い言葉でまとめましょう。

- ・自転車は左端通行をします。
- ・自転車を運転するときにはきちんと交通ルールを守ります。
- ・先が見えにくい場所では徐行します。

【指導のポイント等】

- 見通しが悪いカーブの道路では、正面衝突の可能性が高いため、自転車は道路の左端を安全な速度で通行する。
- 「対向車両は、前方から自転車が来ているということを予想していない」という自動車の運転手の視点についても説明する。

交通安全KYT資料⑧「自転車の夜間無灯火走行」ワークシート実践例



① このイラストはどのような場面ですか。

- ・夜間、無灯火で自転車の運転をしている。
- ・前方左から交差点に近づいている車がある。
- ・交差点に近づいている車は右折しようとしている。

② この後、どのような危険が考えられますか。

- ・車は停止線で一旦止まるが、自転車が見えないので右折しようとし、自転車は、車が停止線で一旦止まったのでそのまま直進し、そこでぶつかる。
- ・車はカーブミラーで左右から車等が来ないことを確認して進み、そこで自転車とぶつかる。

③ 危険を避けるためにはどのようにすればよいですか。

- ・夜間、自転車に乗るときは、反射板の点検をするとともに、必ずライトを点灯する。
- ・夜間、自転車から車はよく見えるが、車からは見えにくいことを認識しておく。
- ・特に、夜間に自転車に乗るときは、交差点の手前で減速し、車との衝突を避ける。

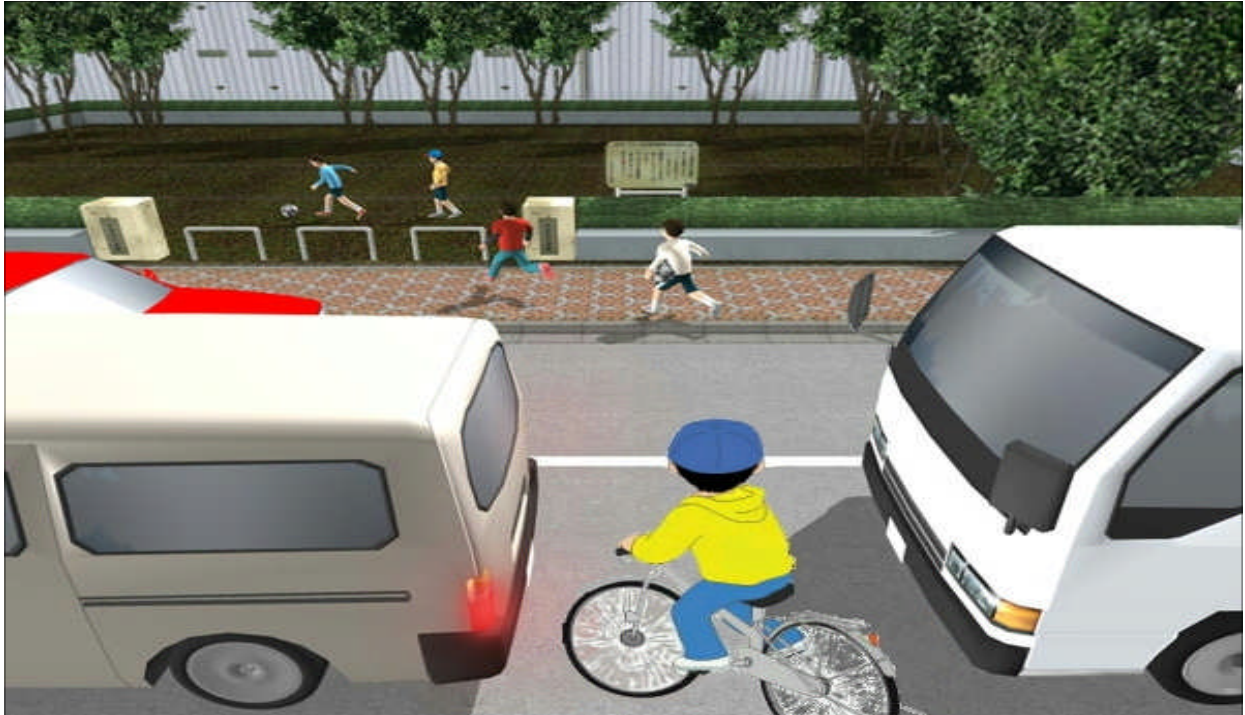
④ ③についてグループで話し合い、危険を避けるために最もよいと思う方法を1つ決め、短い言葉でまとめましょう。

- ・夜間、自転車に乗るときには必ずライトを点けます。
- ・自転車を運転して交差点に差し掛かるときには、手前で減速します。
- ・夜間、自転車に乗るときには昼間以上に気を付けて運転します。

【指導のポイント等】

- ライトを点けることは路面を照らすと同時に、自分の存在を他の車や歩行者に知らせるという意味もあるので、夜間は必ずライトを点ける。
- 自転車に乗る際は、ヘルメットや安全ベストを着用することが自らの命を守ることにつながる。

交通安全KYT資料⑨「停車中の車輻間の横断」ワークシート実践例



① このイラストはどのような場面ですか。

- ・道路が渋滞し、車が停止している。
- ・道路の向こう側に友達がいるのを見つけ、自分もそっちに行こうとして停車している車の間をすり抜け、道路を横断しようとしている。

② この後、どのような危険が考えられますか。

- ・反対車線に出たとき、車とぶつかる。
- ・突然車が動いて挟まれる。
- ・停車中の車の横をバイクが走ってきてぶつかる。

③ 危険を避けるためにはどのようにすればよいですか。

- ・車と車の間を通過して道路を横断しない。
- ・近くの横断歩道まで行って、横断する。
- ・見通しのよいところで安全を確かめて横断する。

④ ③についてグループで話し合い、危険を避けるために最もよいと思う方法を1つ決め、短い言葉でまとめましょう。

- ・渋滞している車の間をすり抜けて道路を横断しません。
- ・道路を横断するときは、横断歩道を渡ります。
- ・道路を横断するときは、安全確認をきちんとします。

【指導のポイント等】

- 渋滞して停車している車の間をすり抜けて道路を横断することは大変危険であるので、遠回りになっても横断歩道か見通しのよいところでよく確認して横断する。
- 自転車に乗る際は、ヘルメットや安全ベストを着用することが自らの命を守ることにつながる。

交通安全KYT資料⑩「信号機のある交差点の自転車走行」ワークシート実践例



① このイラストはどのような場面ですか。

- ・交差点の横断歩道を自転車で渡ろうとしている。
- ・右側に左折、右折の車がいて、横断歩道上には歩行者もいる。
- ・歩行者用の信号が青なので、そのまま渡ろうとしている。

② この後、どのような危険が考えられますか。

- ・右側の左折車に巻き込まれる。
- ・右側の右折車がかなり前に来ているので、突っ込んできてぶつかる。
- ・右側の2台の車にばかり意識が向いていて、歩行者のことが目に入らずぶつかる。

③ 危険を避けるためにはどのようにすればよいですか。

- ・信号が青だからといって安心して渡らずに左右を十分確認する。
- ・右側の2台の車の動きに十分注意する。危険を感じたら手前で止まる。
- ・横断歩道を渡るときには、徐行して歩行者に十分注意する。

④ ③についてグループで話し合い、危険を避けるために最もよいと思う方法を1つ決め、短い言葉でまとめましょう。

- ・信号機付きの横断歩道を渡るときは、青でも十分安全確認をします。
- ・信号が青でも危ないと思ったら、止まって待ちます。
- ・自転車で横断歩道を渡るときには、歩行者に気を付けて徐行します。

【指導のポイント等】

- 信号機のある交差点を渡るときには、進行方向が青信号でも、必ず安全確認をする。
- 交差点での右左折車は、反対方向の車のことが気になり、横断歩道上の歩行者や自転車に気付かないこともあるので十分な注意が必要である。
- 押しボタンを押して渡る場合にも、きちんと青信号になったことを確認して渡る。